

# 因果関係を理解する子どもが育つ小学校の歴史学習

## —「なぜ？」を追究する学習を通して—

教育実践高度化専攻 教科指導重点コース 言語・社会科学系（社会科）

氏 名（ 八橋 愛介 ）

現代のような予測困難な時代において、社会的事象を因果関係で理解することは、とても重要なことである。しかし、小学校の歴史学習に目を向けると、歴史的事象を因果関係で理解する授業が十分に行われていないという課題がえてきた。

そこで本研究では、歴史学習に関する先行研究の検討から、研究構想を組み立て、その研究構想に基づいて授業開発・実践を行ったら、歴史を初めて学習する小学6年生が歴史の因果関係を理解できるようになるのかを検証した。

授業実践とその考察を通して、「問いの構造図」に基づいて、「なぜ？」を追究する学習を行うことは、子どもたちが歴史の因果関係を理解する上で、一定の効果があること、「なぜ？」の問いを解き明かしていくための資料として、絵画史料や写真資料といった視覚的な資料を活用することで、「なぜ？」を追究がしやすくなることが明らかになった。

一方、大きな歴史の因果関係をいかに理解させていくのか、子どもたちの主体性をいかに高めていくのかという課題が残された。